

三木 康司

株式会社enmono 代表取締役
Zen2.0 創設者
ZenSchool® 創設者
神奈川県鎌倉市
Email: mikikouj@gmail.com
LinkedIn: https://www.linkedin.com/in/mikikouj/
Medium: https://zenschool.medium.com/

プロフィール

三木康司は、禅の実践、イノベーション・マネジメント、人工知能の交点で活動している。20年以上にわたり日本の中小製造業を支援し、250回を超える工場訪問を通じて、職人や創業者が持つ暗黙知を引き出す手法を築いてきた。禅に基づくイノベーション・プログラム「ZenSchool®」を創設し、その修了生には、日本の民間企業として初めて月面を撮影した探査車の開発者や、日本を代表する空飛ぶクルマ企業の創業者がいる。また、2017年に建長寺で立ち上げたZen2.0の共同創設者でもあり、Zen2.0は現在、禅とマインドフルネスに関する世界最大の国際カンファレンスへと成長している。2026年11月、Zen2.0は10年目を迎える。
現在は、禅とテクノロジーが出会う「マインドフル・シティ」として鎌倉を育てる長期の取り組みに力を注いでいる。禅の瞑想を15年以上、ヴィパッサナーを7年以上実践しており、日本二十六聖人の一人、聖パウロ三木の子孫でもある。2026年には観想的AIイニシアチブ（Contemplative AI Initiative）を立ち上げた。AIアライメントを観想の智慧に根ざして考える長期の取り組みであり、11月20日には、鎌倉の光明寺で観想的AIとスーパーアライメントをテーマにした最初の公開ワークショップを主催する。

専門分野

- 生成AIとIKIGAI
- 組織・リーダーシップにおける禅とマインドフルネス
- 経営者向けの禅によるイノベーション・コーチング（ZenSchool® / 真のイノベーション）
- 製造業の中小企業における暗黙知の引き出しとイノベーション・マネジメント
- メタバース／VRを用いた対話とリトリートの設計

現在の役職

- 代表取締役、株式会社enmono（2009年～現在）
- 創設者、ZenSchool®（2011年～現在）
- 創設者・共同代表、一般社団法人Zen2.0（2017年～現在）
- 共同創設者、観想的AIイニシアチブ（2026年～現在）
- 非常勤講師、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科（2021年～現在）

ZenSchool® — メソッドと修了生の成果

経営者・創業者向けの7か月間のイノベーション・プログラム。2011年に開始し、現在は65期を超え、浜松・豊田での地域開催と、英語による国際クラスも行っている。最も強い事業のアイデアは市場調査ではなく、創業者自身の内に埋もれた願いにあるという考えに立つ。禅に由来する問いかけ、対話、瞑想によってその願いを引き出し、製品へと形にする。
修了生が築いたものが、その証である。

- 中島紳一郎氏（株式会社ダイモン代表取締役、第17期・2017年修了）は、修了の翌夏から月面探査車**YAOKI**の設計を始めた。2025年3月7日、YAOKIはIntuitive MachinesのIM-2に搭載されて月面に到達し、地球へ画像を送信した。日本の民間企業として初めての月面撮影である。重さ498グラムは世界最小・最軽量の月面探査車で、機構・電子回路・ソフトウェアのすべてを一人で設計した。
- 福澤知浩氏（株式会社SkyDrive創業者・CEO、第18期・2019年修了）は、2020年に日本初の有人eVTOL飛行を実現し、2025年大阪・関西万博ではSKYDRIVEの公開デモ飛行を行った。同社はスズキ、三菱UFJ銀行、JR東日本などから430億円超（約2億9,000万米ドル）を調達し、2028年からの商用運航を目指している。
- 英国ロンドンの**TechRound**は2024年3月、「注目すべき日本のスタートアップ10社」に、ZenSchool関連の2社、SkyDriveと、電力を使わない装着型脚部支援器具を手がける株式会社アルケリスを選んだ。

市場分析ではなく坐禅と対話を土台にしたプログラムから、この規模の事業が生まれたこと。それが三木の仕事と著書『真のイノベーション』の中心的な主張である。

Zen2.0 — 10年の歩み（2017～2026）

Zen2.0は2017年、感謝の行いとして始まった。2008年の金融危機で職を失った後、毎日の坐禅で人生を立て直した三木は、4人の友人とともに、自分を支えた禅の伝統に何かを返したいと考えた。最初のカンファレンスは北鎌倉の建長寺で開かれ、100人を超えるボランティアが、従来の階層を持たないティール型の自己管理組織で運営した。
10年を経た今、Zen2.0は禅とマインドフルネスに関する世界最大の国際カンファレンスと広く認められている。経営、科学、宗教、芸術の分野から、日本、欧州、北米の登壇者と聴衆が集い、建長寺での対面開催とオンラインの両方で行われている。パンデミックの年もオンラインに移行して国際的な広がりを拡大し、10年間途切れることなく続いてきた。

- **2017**年 — 第1回。日本初の国際マインドフルネス・カンファレンスを、100人超のボランティアとともに建長寺で開催。
- **2018～2019**年 — 第2回・第3回。海外登壇者のプログラムを拡充。
- **2020～2021**年 — 第4回・第5回。オンライン／ハイブリッド形式に移行し、世界中の聴衆とつながる。
- **2022～2024**年 — 第6回～第8回。継続的な国際的集いとして定着。2023年は「AI時代に人間に問われるもの」を主題とした。
- **2025**年 — 第9回。
- **2026**年 — **10**周年記念大会。11月14日～21日、建長寺にて、マインドフル・シティ鎌倉ウィーク**2026**の一環として、テーマ「和 — すべてのものの共振」のもと開催。カンファレンスを街へ広げる1週間のプログラムで、出展者、寺院の会場、鎌倉の市民が参加する。

主な登壇・国際的活動

- ワールド・マーケティング・サミット（2024年）。「AIとIKIGAI」をテーマに登壇。フィリップ・コトラーが創設したこのサミットは、105か国に配信されている。
- **Co-IDEATION Summit**、スウェーデン・ストックホルム（2024年3月）。マイクロソフトがメインスポンサーを務める未来の働き方のイベントで、「AIとIKIGAI」について招待講演。
- **Zen2.0**、鎌倉（2017年～現在）。毎年、主催者・登壇者を務める。
- 鎌倉**IKIGAI**リトリート（2026年）。ファシリテーターとして、英国、イスラエルなどからの参加者を迎えた。
- **AI**時代のマインドフル・イキガイ、鎌倉・光明寺（2026年8月）。クリスティナ・オンブラと共同開催。
- 観想的**AI**とスーパーアライメント、鎌倉・光明寺（2026年11月20日）。観想的AIイニシアチブ最初の公開ワークショップの主催者・進行役。

出版物

1.「禅の智慧：十牛図が内なる成長目標（**IDGs**）に出会うとき」（**"Zen Wisdom: When the Ten Bulls Encountered the Inner Development Goals"**）
Inner Development Goals: Stories of Collective Leadership in Action, Volume 1 — From "I" to "We." 所収。De Gruyter、2025年。
内なる成長目標（IDGs）を扱った初の英語書籍の一章で、創業270年を超えるドイツの学術出版社De Gruyterから刊行された。IDGsは、SDGsの達成を支える23の内面的な資質とスキルを5つの領域に整理した枠組みである。物語として書かれたこの章は、禅の古典である牛飼いの絵「十牛図」の構造を通してZen2.0の創設と成長をたどり、その歩みをIDGsの枠組みに照らして読み解く。
2.『真のイノベーション』
CCCメディアハウス、2018年6月。前野隆司教授（慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科）による解説付き。
真のイノベーションは論理ではなく情熱から生まれるという主張。自分の心の中にしかない「本当につくりたいもの」は、市場調査が生み出すどんなものよりも際立つが、社会的立場や先入観に覆われがちである。禅の問いに基づくZenSchoolの対話メソッドによって、その埋もれた熱量を見いだす方法を示す。
3.『はじめよう、マイクロ・モノづくり』
テンブックス、2013年4月。
メイカーや小規模製造業のための、リーン型の製品開発手法を示す実践ガイド。禅の哲学的枠組みに根ざし、ソーシャルメディアとクラウドファンディングを活用する。

教育・研究活動

- 非常勤講師、慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科（2021年～現在）。
- **ZenSchool®**（2011年～現在）。創設者・主任ファシリテーター。上記「ZenSchool® — メソッドと修了生の成果」を参照。
- 慶應義塾大学医学部および同大学院システムデザイン・マネジメント研究科が主催する殿町**Edge**ウェルビーイング・イノベーション・プログラム（上級コース）に選抜（2017年）。
- 研究関心：製造業における暗黙知の引き出し、SECIモデル、観想的実践とイノベーション手法の関係。250～300回の工場訪問に基づく。

職歴・沿革

2026年 — 観想的AIイニシアチブを立ち上げ。AIアライメントを観想の智慧に根ざして考える長期の

取り組みで、最初の公開ワークショップ「観想的AIとスーパーアライメント」を鎌倉・光明寺で開催（11月20日）。
2026年 — Zen2.0 10周年記念大会、マインドフル・シティ鎌倉ウィーク（11月、建長寺）。
2025年 — ZenSchool修了生の中島紳一郎氏が開発したYAOKIが、日本の民間企業として初めて月面を撮影（3月）。ZenSchool修了生の福澤知浩氏率いるSkyDriveが、大阪・関西万博2025で公開デモ飛行。*Inner Development Goals, Volume 1*（De Gruyter）に一章を寄稿。観想的AIの構築に着手。Zen2.0第9回。
2024年 — ZenSchool修了生が率いる2社が、TechRoundの「注目すべき日本のスタートアップ10社」に選出（ロンドン、3月）。ストックホルムのCo-IDEATION Summit（マイクロソフトがメインスポンサー）とワールド・マーケティング・サミットに招かれ、いずれも「AIとIKIGAI」をテーマに登壇。Zen2.0第8回。
2017年 — 日本初の禅とマインドフルネスの国際カンファレンス、Zen2.0を建長寺で創設。ZenSchoolが殿町Edgeウェルビーイング・イノベーション・プログラムに選抜。
2016年 — ZenSchoolが浜松・豊田で地域開催を開始。テレビ東京『ガイアの夜明け』第699回で、小さな工場の復活が取り上げられる。
2013年 — 中小製造業向けクラウドファンディング「zenmono」を開始。『はじめよう、マイクロ・モノづくり』を出版。
2011年 — 中小企業向けイノベーション・プログラム「ZenSchool」を開始。
2009年 — 株式会社NCネットワークを退社。株式会社enmonoを共同創業。
2007年 — 株式会社NCネットワーク取締役に就任。
2000年 — 株式会社NCネットワークに入社。
1997年 — 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科修士課程を修了。富士通株式会社を退職。
1992年 — 明治学院大学国際学部を卒業。富士通株式会社に入社、海外営業部門に配属。

学歴

- 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 — 博士課程、単位取得退学（2004年）
- 慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科 — 修士（戦略経営・イノベーション論）（1997年）
- 明治学院大学国際学部 — 学士（1992年）
- 芝学園高等学校（1987年）

観想的実践

- 禅の瞑想 — 15年以上の毎日の実践
- ヴィパッサナー瞑想 — 7年以上
- 大峯奥駆道の修験道巡礼（2026年）
- トレイルランニングとサーフィン（鎌倉）

言語

日本語（母語） | 英語（実務レベル）